

「高速道路の安全走行」「トラックの日」をPR

(一社)富山県トラック協会青年部会(鍋谷大輔部会長)は、10月6日(金)に、魚津市の北陸自動車道下り線有磯海サービスエリア(SA)で、「トラックの日」PRと交通安全街頭キャンペーンを行い、高速道路の安全走行を呼びかけました。トラック運送業界への理解を深めてもらうための活動は、県下の青年部会員が一堂に会して実施しています。



街頭キャンペーンは午前11時から、富山県高速道路交通安全協議会のハイウェイレディ2名、県警高速道路高速警察隊の隊員5名、青年部会員13名が参加して行われ、鍋谷部会長が「元気にPRしましょう」と呼びかけ、休憩に立ち寄ったサービスエリア利用者に、業界が安全対策に積極的に取り組んでいることをアピールし、トラックの日をPRしました。

当日は、「ご苦労様です。頑張ってください」という励ましの声もいただきながら、グッズを受け取った利用者からは感謝の声と笑顔を返され、キャンペーン参加者はトラック運送事業への意欲を新たにしました。



寄附金贈呈では、7月8日(土)に開催した青年部会チャリティゴルフ大会で集めた51,000円を(独)自動車事故対策機構富山支所を通じて、(公財)交通遺児等育成基金へ贈呈いたしました。

青年部会では、今後もいろいろな機会を通じて業界への理解促進に向けた活動を実施していきたいと考えており、新規入会者を募集しています。(各地区青年部に入会が必要です)

